

香川県教育委員会 8月臨時会会議録

1. 開催日時 令和5年8月30日(水)
開 会 午後2時00分
閉 会 午後3時40分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

教 育 長	淀 谷 圭 三 郎
委 員	小 坂 真 智 子
委 員	平 野 美 紀
委 員	藤 澤 茜
委 員	木 下 敬 三
委 員	蓮 井 明 博

4. 教育長及び委員以外の出席者

副教育長	海 津 洋
教育次長兼政策調整監	白 井 道 代
教育次長	三 好 健 浩
総務課長	近 藤 高 弘
特別支援教育課長	藤 田 明
政策主幹兼総務課副課長	宮 西 正 博
高校教育課長補佐(兼)主任指導主事	高 鳥 光 郎
特別支援教育課副主幹(兼)主任指導主事	谷 口 公 彦
特別支援教育課主任指導主事	鳥 井 口 隆
特別支援教育課主任指導主事	森 本 将 弘

傍聴人 なし

5. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第1号は、「県の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」に該当するため、また、文部科学省初等中等教育局長名で、静ひつな採択環境を確保し、公正かつ適正な教科書採択を行う旨の通知が出されていることを考慮し、非公開としたい旨を發議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

6. 議 案

○議案第1号 令和6年度から県立特別支援学校（小学部）において使用する教科書の採択について（非公開案件）

教育長から、議事の進め方として、協議及び採決を2つの項目に分け、最初に、県立視覚支援学校（小学部）において使用する教科書の一部、次に県立特別支援学校（小学部）において使用する教科書について、それぞれ協議終了後に採決することについて説明。

- (1) 県立視覚支援学校（小学部）において使用する教科書の一部の採択について
特別支援教育課長から、令和6年度から使用する県立視覚支援学校の小学部の一部の教科書において、文部科学省著作点字教科書が出版される6種目（国語、社会、算数、理科、英語、道徳）については、過去の採択状況等を踏まえ、その原典となる文部科学省検定済教科書を採択案とすることを説明し、採択について諮る旨、説明。

【質疑】

<教育長>これは裁量の余地があるものか。

<特別支援教育課長>視覚支援学校では、全盲の児童と弱視の児童が共に学ぶことが考えられるため、採択案どおり承認をいただきたいと考えている。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

- (2) 県立特別支援学校（小学部）において使用する教科書の採択について
教育長から、本議案の採択方法について、以下の説明があった。
- ・特別支援学校（小学部）において使用する教科書については、種目ごとに順番に採択を行うこと。
 - ・種目ごとに、最初に協議を行い、その後に各委員が学校別に投票し、過半数を得た図書があった学校は、委員に諮った後、当該図書を採択すること。
 - ・投票の結果、過半数を得た図書がなかった学校は、再度、協議を行った後に再投票を行い、過半数を得る図書があるまでこれを繰り返し、過半数を得た図書があれば、再度、委員に諮った後、当該図書を採択すること。
 - ・投票は無記名で行うこと。
 - ・会議規則第8条第2項の規定に基づき、開票立会人として木下委員を指名すること。

特別支援教育課長から、以下の説明があった。

- ・それぞれの障害種に応じ専門の知識を有する教員を県立義務教育諸学校教科用図書調査員会の調査員として任命したこと。

- ・教科書調査研究資料については、香川県教科用図書選定審議会から答申のあった「教科用図書採択基準」並びに「学習指導要領に示された障害種により配慮すべき事項」等を基に、県立義務教育諸学校教科用図書調査員が調査研究を行い、図書の評価を客観的数値等で示したこと。
- ・2回開催した勉強会で、各校の校長からの意見聴取や調査員代表の調査内容の報告を行い、最適な教科書を採択できるよう研究を行ってきたこと。

①国語

＜特別支援教育課長＞国語の教科書は3社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】

＜委員＞他の教科書はさておき、聴覚支援学校は東京書籍の教科書が一番よいと言うことか。

＜特別支援教育課長＞障害特性はそれぞれ異なるが、聴覚支援学校の調査結果では、その教科書の点数が一番高くなっている。

＜委員＞これを我々の判断基準にすればよいのか。

＜特別支援教育課長＞判断基準の一つにして欲しいと考えている。

＜教育長＞この点数は、調査委員が何点満点中の何点のような付け方をしたのか。

＜特別支援教育課長＞まず、調査する観点を定め、次に、全ての教科書について、その観点到合致する箇所数を数えて、資料に記載している。

＜教育長＞資料に「構成上の工夫」の観点的欄があるが、出版社によっては、該当する箇所数が少ない。いずれの図書も教科書検定を通過しており、違和感がある。

＜特別支援教育課長＞個々の障害種から判断して、それぞれの支援学校で使いやすさの観点から調査項目を決めて数えているため、結果として教科書により該当箇所が少ないものもある。

＜教育長＞文部科学省の話になるかもしれないが、翌年度に向けてもっと工夫をするように、教科書会社へ話を返さないのか。

＜特別支援教育課長＞該当箇所が少ないから改善が必要というものではない。

例を挙げると、高松支援学校の調査では、肢体不自由の児童が「操作しやすい」「見えやすい」といった観点を定めて、図書の中からこれに合致する箇所数を資料にまとめている。一方、他の障害種の児童を担当する学校の調査では、これとは異なる観点を採用しているため、高松支援学校の観点的該当箇所が少ないからといって、改善が必要ということにはならない。全ての教科書は、国の検定を通過しており、国の基準を満たしている。調査結果は、採択の参考として、障害種別に「使いやすさ」の観点から、各教科書を比較したもので、各観点的該当箇所が少ないから改善が必要というものではない。

＜委員＞これは児童に実際に読んでもらい、感想をもらうのか。

＜特別支援教育課長＞それはしていない。障害について専門知識を持った教員に、それぞれの観点で調査を依頼し、客観的な数字を出し、教科書採択の参考資料としている。

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍		6票	6票	6票
教育出版				
光村図書出版	採択済			

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、聴覚支援学校は東京書籍、高松支援学校も東京書籍、善通寺支援学校も東京書籍を採択することに決した。

②書写

＜特別支援教育課長＞書写の教科書は3社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】

＜委員＞高松支援学校は、東京書籍と光村図書出版を総合的にみると、どちらの方が優れているのか。

＜特別支援教育課長＞調査委員の報告では、構成上の工夫について、光村図書出版の方が肢体不自由の子どもに使いやすいと書かれている。

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍		6票		
教育出版	6票			
光村図書出版			6票	6票

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、視覚支援学校は教育出版、聴覚支援学校は東京書籍、高松支援学校は光村図書出版、善通寺支援学校も光村図書出版を採択することに決した。

③社会

＜特別支援教育課長＞社会の教科書は3社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍		6票	6票	6票
教育出版	採択済			
日本文教出版				

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、聴覚支援学校は東京書籍、高松支援学校も東京書籍、善通寺支援学校も東京書籍を採択することに決した。

④地図

＜特別支援教育課長＞地図は2社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍				
帝国書院	6票	6票	6票	6票

投票結果により、過半数を得た地図について各委員に諮り、視覚支援学校は帝国書院、聴覚支援学校も帝国書院、高松支援学校も帝国書院、善通寺支援学校も帝国書院を採択することに決した。

⑤算数

＜特別支援教育課長＞算数の教科書は6社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍		6票		
大日本図書	採択済			
学校図書				6票
教育出版			1票	
啓林館				
日本文教出版			5票	

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、聴覚支援学校は東京書籍、高松支援学校は日本文教出版、善通寺支援学校は学校図書を採択することに決した。

⑥理科

＜特別支援教育課長＞理科の教科書は6社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍	採択済			
大日本図書		6票		6票
学校図書				
教育出版			6票	
信州教育出版				
啓林館				

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、聴覚支援学校は大日本図書、高松支援学校は教育出版、善通寺支援学校は大日本図書を採択することに決した。

⑦生活

＜特別支援教育課長＞生活の教科書は7社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍			6票	
大日本図書				
学校図書		6票		
教育出版	6票			
信州教育出版				
光村図書出版				
啓林館				6票

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、視覚支援学校は教育出版、聴覚支援学校は学校図書、高松支援学校は東京書籍、善通寺支援学校は啓林館を採択することに決した。

⑧音楽

＜特別支援教育課長＞音楽の教科書は2社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
教育出版		6票	6票	6票
教育芸術社	6票			

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、視覚支援学校は教育芸術社、聴覚支援学校は教育出版、高松支援学校も教育出版、善通寺支援学校も教育出版を採択することに決した。

⑨図画工作

＜特別支援教育課長＞図画工作の教科書は2社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
開隆堂			6 票	
日本文教出版	6 票	6 票		6 票

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、視覚支援学校は日本文教出版、聴覚支援学校も日本文教出版、高松支援学校は開隆堂、善通寺支援学校は日本文教出版を採択することに決した。

⑩家庭科

＜特別支援教育課長＞家庭科の教科書は2社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍		6 票	6 票	
開隆堂	6 票			6 票

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、視覚支援学校は開隆堂、聴覚支援学校は東京書籍、高松支援学校も東京書籍、善通寺支援学校は開隆堂を採択することに決した。

⑪保健

＜特別支援教育課長＞保健の教科書は6社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍			6 票	
大日本図書		6 票		6 票
大修館書店				
文教社				

光文書院				
学研	6 票			

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、視覚支援学校は学研、聴覚支援学校は大日本図書、高松支援学校は東京書籍、善通寺支援学校は大日本図書を採択することに決した。

⑫英語

<特別支援教育課長>英語の教科書は6社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍		6 票	1 票	
開隆堂	採択済		5 票	
三省堂				
教育出版				
光村図書出版				6 票
啓林館				

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、聴覚支援学校は東京書籍、高松支援学校は開隆堂、善通寺支援学校は光村図書出版を採択することに決した。

⑬道徳

<特別支援教育課長>道徳の教科書は6社から出版されている。障害種に応じて調査する内容を学校毎に定め調査している旨、説明。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

	視覚支援学校	聴覚支援学校	高松支援学校	善通寺支援学校
東京書籍				
教育出版	採択済	6 票		

光村図書出版				
日本文教出版			6票	6票
光文書院				
学研				

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、聴覚支援学校は教育出版、高松支援学校は日本文教出版、善通寺支援学校も日本文教出版を採択することに決した。

【質疑】

＜委員＞要望として申し上げるが、科目により、資料が複数ページに渡る場合は、比較しづらいので、今後は項目を最初のページのみにして、2ページ目からはその部分を詰めてくれると見やすくなると思う。

＜教育長＞次回から、資料の作成を工夫するように。

＜特別支援教育課長＞分かりました。